

社会心理学とくに社会的認知、裁判員制度

1. 専門演習の目標

社会心理学の理解とともに、データの収集や解析などの研究方法についても学ぶ。

2. 専門演習で扱う課題と内容

人々は社会からさまざまな影響を受けながら日々の生活を送っている。このような社会的影響の産物として社会的態度をとらえることができる。本演習では、社会的態度を中心に、個々人のパーソナリティや社会的動機、個人と個人との対人認知や対人関係、個人と集団との相互作用、さらに比較文化といった複眼的な視点から社会の中の人間を考えてみる。

3. 授業の進め方・内容

3回生前期：社会心理学における基本的な知識の習得と

3回生後期：各自の問題意識の明確化

4回生前期：各自の問題意識に基づくテーマ設定

4回生後期：データの収集・解析

4. 必要とする知識

データ解析法、EXCELやSPSSなどのデータ解析アプリケーションの利用方法の理解

5. 関連する分野・科目・知識

統計学、線形代数、多変量解析法、心理学、社会学

6. テキスト・参考書・機材（受講生が標準的に持つもの）

安藤清志・大坊郁夫・池田謙一「社会心理学」岩波書店

7. 独自に付加する選考方法

特になし。

8. 受講生に望むこと

統計を含めたデータ解析法に関心を持っていること。